

臨床研究「術中人工鼻に貯留する水分量の検討」について

筑波大学附属病院麻酔科では、標題の臨床研究を実施しております。

本研究の概要は以下のとおりです。

① 研究の目的

全身麻酔では吸気の加湿・加温を目的に人工鼻と呼ばれるフィルターを使用します。人工鼻の過度の吸湿は流量抵抗の増加や人工鼻の閉塞の危険があるため、加湿器との併用は禁止されています。最近、日本でも使用されるようになった、吸入麻酔薬のデスフルランは麻酔に要する薬剤の量が多いため、吸入麻酔薬の消費量を抑える目的などにより、低流量で麻酔を維持することが多くなっています。ガス流量を減らすことで回路内の結露や水分貯留が増加することが知られています。人工鼻に水分が貯留すると抵抗が増し、自発呼吸時の呼吸仕事量が増加し、患者様にとって負荷がかかることが予想されます。過去にいくつかの研究は行われていますが、現在当院で使用されている人工鼻では低流量で長時間麻酔をした際に、人工鼻にどの程度の水分が貯留し、それがどのくらいの抵抗になっているか調べた研究はありません。今回、実際に手術に使用した人工鼻の麻酔前後で人工鼻の重量を計測することで、間接的に水分量を測定するとともに、人工肺モデルを用いて、抵抗値を測定します。抵抗値が高くなるようであれば、今後手術麻酔終了時には新しい人工鼻を用いて麻酔から覚醒させるなどの手術麻酔の向上に役立てます。

② 研究対象者

倫理委員会承認後から 2022 年 3 月 31 日までに当院で長時間手術麻酔を受けた患者

③ 研究期間：倫理審査委員会承認後～2022 年 12 月 31 日まで

④ 研究の方法

成人で全身麻酔下に長時間手術を受けられる患者様に使用する人工鼻を使用前と使用後に重量を測定します。術後、電子麻酔記録から手術時間、麻酔時間、体位、麻酔維持中のガス流量を抽出します。

⑤ データ管理責任者名

筑波大学附属病院 山本 純偉

⑥ 研究機関名および研究責任者名

筑波大学附属病院 山本 純偉

⑦ 本研究への参加を希望されない場合

患者さんやご家族（ご遺族）が本研究への参加を希望されず、情報の利用または提供の停止を希望される場合は、下記の問い合わせ先へご連絡ください。すでに研究結果が公表されている場合など、ご希望に添えない場合もございます。

⑧ 問い合わせ連絡先

筑波大学附属病院：〒305-8576 茨城県つくば市天久保 2-1-1

所属・担当者名：麻酔科 担当 山本 純偉

電話・FAX・029-853-3092（平日9～17時）